

2009年度情報化月間 記念講演
(於 ANAインターコンチネンタルホテル東京)

デジタル新時代の人財を 企業で活かす

～「情報化社会の人材育成」を担う高等学校教科「情報」の実態と期待～

(財)コンピュータ教育開発センター

2009.10.1

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

アジェンダ

- ・趣旨説明
- ・企業から
- ・教育現場から
- ・ディスカッション
- ・まとめ

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

趣旨説明

- ・社会の情報化が進んでいる
 - 6年前に高校に「情報科」が新設された
- ・企業が求める人材と情報科が育てる生徒との間にギャップがあるのでは？
- ・CECの全国調査
 - 高等学校卒業後の進路である大学や企業が、高等学校などの教科「情報」でどのようなことを教えてほしいと知っているかを聞いたところ、全体では「知らない(知りたい)」が76.8%、「知っている」は14.0%
- ・情報社会で生き抜く子どもたちに必要な「情報活用能力」
 - 社会人基礎力として何が必要か？
 - 教育現場で何を育成できるか？
- ・具体はさておき「共通理解」と「課題抽出」を目指したい

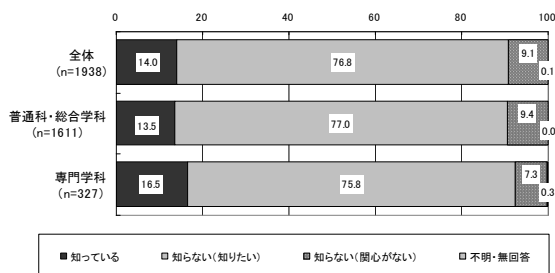
Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

情報科教員の認識

- ・高等学校卒業後の進路である大学や企業が、高等学校などの教科「情報」でどのようなことを教えてほしいと知っているかを聞いた
- ・「知らない(知りたい)」が最も高く76.8%
- ・「知っている」は14.0%
- ・学科別
 - 「普通科・総合学科」「専門学科」で大きな差がない
 - わずかに「専門学科」の方が「知っている」が高く、「知らない(知りたい)」「知らない(関心がない)」が低い
 - 「専門学科」での「知っている」も20%を下回っており、およそ75%が「知りたい」と考えている

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

大学・企業が求めることの認知

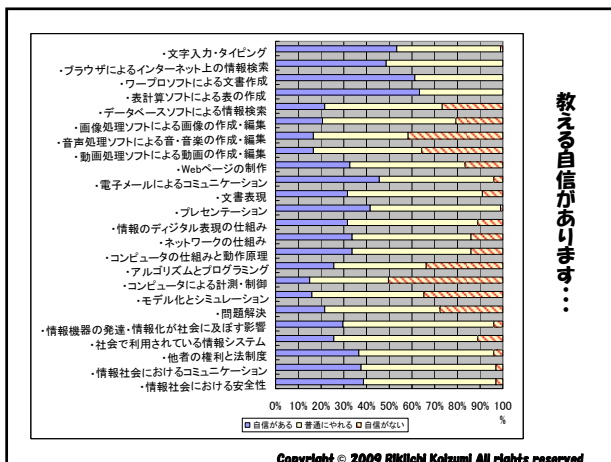
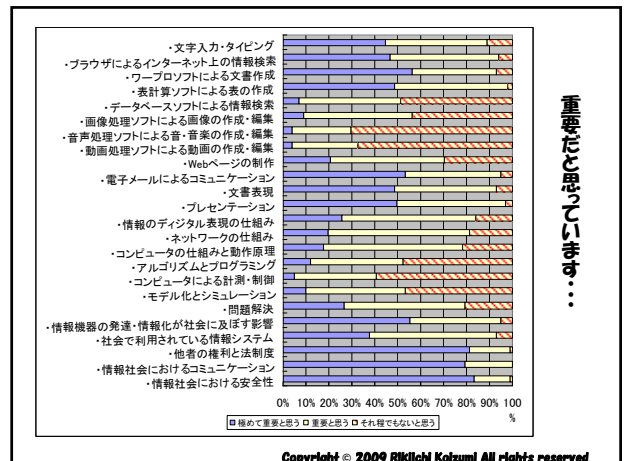
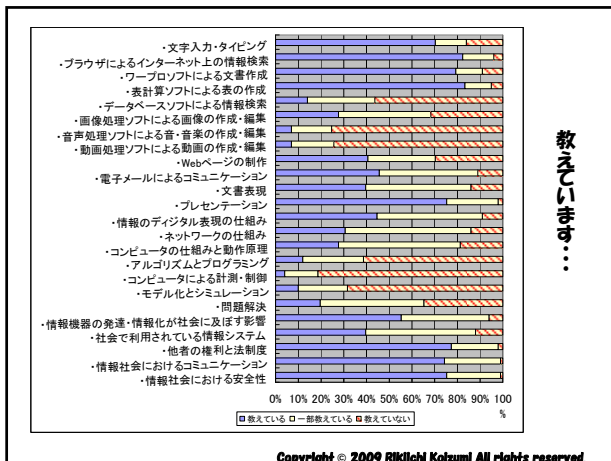


Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

学習指導要領に見る変遷

- ・平成元年
 - 中学校
 - ・技術・家庭科の新たな選択領域として「情報基礎」を設置する
 - 高等学校
 - ・普通教育における数学科、理科、家庭科等にコンピュータ等に関する内容を取り入れ、専門教育における各学科で情報に関する科目(家庭情報処理、農業情報処理、水産情報処理等)が取り入れる
- ・平成11年
 - 中学校
 - ・「技術・家庭科」における技術分野の内容「B 情報とコンピュータ」において、4つの学習内容の項目が示される
 - 高等学校
 - ・普通教科「情報」(「情報A」「情報B」「情報C」)及び専門教科「情報」が新設される
- ・平成20年
 - 中学校
 - ・「技術・家庭科」の「技術」分野が再編されすべて必修化される
 - 高等学校
 - ・「社会と情報」と「情報の科学」に再編される

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.



21st Century Skills

- Technological and media literacy:
 - Select correct tools; operate equipment and applications; use them to manage, analyze, integrate, evaluate and create information in a variety of forms
- Effective communication:
 - crafting and executing effective oral, written, and multimedia communication in a variety of contexts
- Critical thinking:
 - Sound reasoning in understanding and making complex choices; understanding the interconnections among systems
- Problem solving:
 - identify and analyze complex, ill-structured problem situations, plan solutions, make decisions, apply solutions flexibly, evaluating results and revise solution
- Collaboration:
 - Demonstrating teamwork and leadership; adapting to varied roles and responsibilities

"ICT, Education Reform, and Economic Growth: A Conceptual Framework"
Robert B. Kozma, Ph.D. White Paper April 2008

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.

こんなスキルの体系も...

- 技術およびメディアを読み書きに関する能力(リテラシー)
 - 正しいツールを選ぶ、機器とアプリケーションを操作する、それらを様々な形で利用して、情報を管理し、分析し、評価し、創造する。
- 効果的なコミュニケーション
 - いろいろな前後関係(文脈)の中で、効果的な口頭説明、書面、マルチメディア・コミュニケーションを巧みに作る実行する。
- 批判的思考
 - 理解したり複雑な選択をしたりすることにおいて確かな推論を行う: システムの間の相互接続を理解する。
- 問題解決
 - 複雑で病的な問題状況を確認し分析し、解決策を策定し、決断し、解を柔軟に適用し、結果を評価しそして解を修正する。
- 協同作業
 - チームワークとリーダーシップを示し、様々な役割と責任に適応する。

Copyright © 2009 Rikichi Kozumi All rights reserved.